

国際

3万年前の航海、丸木舟で再現

3万年ほど前、日本人の祖先が海をわたってきた方法を探る国立科学博物館（東京）のチームが、木をくりぬいた5人乗りの丸木舟で台湾から沖縄県の与那国島まで航海する実験を行い、成功しました。7日に出発し、200^{キロ}以上を丸2



9日、台湾から沖縄県の与那国島に着いた国立科学博物館チームの丸木舟

日近くこぎ続けました。

当時は海面が約80^{メートル}低く、大陸と台湾は陸続きですが、与那国島との間は今と同じく海だったようです。沖縄の島々にはこの時代の遺跡がありますが、そこにくらした人々がどうやってたどり着いたかは分かりません。

チームは昔の技術で海をわたりきれるか調べるため、石おののでつくった舟を使い、星や太陽の位置を見て進む方向を決めました。今回はそれで海をわたれることは分かりましたが、昔の人が同じ方法を使ったとはかぎりません。潮の流れは今と同じだったかどうかなど、明らかにすべきことはまだまだあります。

ニュース アラカルト

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

① 3万年ほど前、日本人の祖先が海をわたって
ほうほう こくりつかがくはくぶつかん
きた方法を探るため、国立科学博物館の
じっけん
チームはどんな実験をしましたか。

[]

② 丸木船を作るために、このチームはどんな
どうぐ つか
道具を使いましたか。

[]

③ 実験をして分かったことは何ですか。

[]

きじ かんそう
④ この記事の感想を書きましょう。

[]

名前【 】